

2026(令和8)年度 授業計画

服飾専門課程 高度アパレル専門科 3年次

目 次

【1】	服飾造形・実習Ⅲ	8301
【2】	クリエイティブデザインⅢ	8302
【3】	ファブリックデザインⅠ	8303
【4】	ダイイングデザインⅠ	8304
【5】	ドローイングアドバンス	8305
【6】	美術解剖学	8306
【7】	アパレルCGⅢ	8307
【8】	パターンメイキング演習Ⅱ	8308
【9】	アパレルCADⅢ	8309
【10】	商品企画	8310
【11】	特別講義Ⅲ	8311
【12】	インターンシップ	8312
【13】	心理学	8313
【14】	ファッション実用フランス語	8314

服飾造形・実習Ⅲ

仙木 沙紀

高度アパレル専門科 3年 通年(前期) 必修 (21単位 演習/実習・実技)

■授業の方針・概要

1年次2年次で学んできた造形に対する知識やテクニックを発展させて、自分のテーマやコンセプトに基づいたオリジナリティのある作品の製作。テーマ、コンセプトを考える事から始め、それに沿ったデザイン、素材の研究、パターン、縫製などを学んでいく。次年度に控えた就職活動を意識した服作りを心がける。様々なコンテストに挑戦し、感性や技術の向上を目指す。また、前期は並行してブティック社の『乙女のソーイングブック』の作品をグループワークで制作する。

■到達目標 (学修成果)

オリジナリティを追求し、身につけた技術で表現力のある服を作る。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業の為に必要な科目。オリジナリティのある作品をテーマ、コンセプトに基づき制作する事は将来アパレル企業等で働く上で必要な発想力とまとめ上げる力を身につける。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題提出時に講評をする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

必要に応じて資料を配布。

■参考文献

ドレメ式原型、PATTERNBOOK I II、SEWING I II IIIIV、PATTERNBOOK

■オフィスアワー・研究室

毎週：月曜日(16時00分～17時00分) 5301教室(第5校舎3階)

■備考

授業内容は変更する事もある。

システム上変更が出来ない為、回数の表記は週単位の授業内容である。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 担任	グループ制作 乙女のソーイングブック	予習：デザインを考える 復習：進められるところまで進める	30分
2回 担任	デザイン決定 企業研修：	予習：デザインにあった基本のパターンを探す 復習：進められるところまで進める	30分
3回 担任	技法の研究	予習：技法を探す 復習：進められるところまで進める	30分
4回 担任	パターンメイキング	予習：生地を探す 復習：出来上がった形の整理	120分
5回 担任	トワル制作	予習：生地を探す 復習：進められるところまで進める	120分
6回 担任	サンプル作成	予習：地直しをしておく 復習：進められるところまで進める	30分
7回 担任	ブティック社 トワル仮縫い	予習：仮縫い準備 復習：進められるところまで進める	60分
8回 担任	修正	予習：必要な材料を揃える 復習：縫製工程を考えておく	30分
9回 担任	型紙制作	予習：出来るところまで縫っておく 復習：進められるところまで進める	30分
10回 担任	実物制作	予習：必要な材料の準備をする 復習：進められるところまで進める	30分
11回 担任	実物制作	予習：必要な材料の準備をする 復習：進められるところまで進める	30分
12回 担任	実物制作	予習：必要な材料の準備をする 復習：進められるところまで進める	30分
13回 担任	実物制作	予習：コーディネートの考案 復習：出来るところまで縫う	30分
14回 担任	仕上げ	予習：コーディネートの考案	30分
15回 担任	撮影	予習：当日の動きの確認 復習：どうしたらスムーズだったか考える	30分

服飾造形・実習Ⅲ

仙木 沙紀

高度アパレル専門科 3年 通年(後期) 必修 (21単位 演習/実習・実技)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 担任	クリエイションのあるデザインの製作 テーマ・コンセプト・デザイン決定	予習: デザインを考える 復習: 進められるところまで進める	120分
2回 担任	パターンメイキング	予習: 地直しをしておく 復習: 進められるところまで進める	30分
3回 担任	トワル制作・仮縫い・素材の研究 サンプル作成・ボード作成	予習: 生地を探す 復習: 進められるところまで進める	120分
4回 担任	修正・裁断	予習: 生地を探す 復習: 出来上がった形の整理	120分
5回 担任	実物仮縫い・修正	予習: 必要な材料を揃える 復習: 縫製工程を考えておく	60分
6回 担任	縫製	予習: 出来るところまで縫っておく 復習: 進められるところまで進める	60分
7回 担任	仕上げ・コーディネート・ポートフォリオの作成	予習: コーディネートの考案 復習: 出来るところまで縫う	30分
8回 担任	プレゼン	予習: プレゼンの練習	30分
9回 担任	自由制作、コンテスト作品制作	予習: 技法を考える 復習: 出来るところまで進める	60分
10回 担任	修了制作4体 テーマ・コンセプト・デザイン決定	予習: デザインを考える 復習: 出来るところまで進める	60分
11回 担任	パターンメイキング	予習: 地直しをしておく 復習: 出来るところまで進める	30分
12回 担任	トワル制作・仮縫い・素材の研究	予習: 生地を探す 復習: できるところまで進める	60分
13回 担任	修正・サンプル作成・裁断 実物仮縫い・縫製	予習: 縫製工程を考える 復習: 出来るところまで進める	30分
14回 担任	仕上げ・コーディネート考案・ポートフォリオの作成	予習: コーディネートを考える 復習: プレゼンの内容を考える	30分
15回 担任	プレゼン	予習: 発表練習	30分

クリエイティブデザインⅢ

渡邊 千佳子

高度アパレル専門科 3年 通年(前期) 必修 (2単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

クリエイティブデザインⅠ・Ⅱで学んだ基礎デザインを基に応用力を養いながら、各自の研究テーマや個性を活かすクリエイション指導を行う。あらゆるものから実践的にクリエイションを形にしていく。

様々な情報や市場調査、美術館の鑑賞などを通して視野を広げ、独自の世界観を確立させていく。

■到達目標 (学修成果)

様々なテーマによるデザイン考案を繰り返す事で創造性及び企画力を身に付ける。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目である。服飾造形Ⅲと連携しクリエイション力を伸ばす。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

下書きの段階で一度チェックし、着彩方法、タッチなどその都度点検する、作品返却時に講評する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

ファッション画法 (渡辺波江、肉丸美香子著)、ファッションプラス～イラストで学ぶファッション～

■参考文献

最新のファッション雑誌

■オフィスアワー・研究室

毎週：月曜日(15:45～16:45) 5302教室(第5校舎3階)

■備考

授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 渡邊	ブティック社産学連携 乙女のソーイングブックデザイン考案	復習：デザイン考案、図書館	30分
2回 渡邊	乙女 デザインのまとめ 決定 YKKコンテストテーマ探し	復習：デザイン考案 図書館	30分
3回 渡邊	乙女 製図と役割分担 YKKコンテスト下書き	復習：製図	30分
4回 渡邊	乙女 " YKKコンテスト仕上げ	復習： "	30分
5回 渡邊	乙女 "	復習： "	30分
6回 渡邊	乙女 トワール制作	復習：トワール制作	30分
7回 渡邊	乙女 "	復習： "	30分
8回 渡邊	乙女 仮縫い 全国ファッションデザインコンテスト考案	復習：生地探し テーマ探し	30分
9回 渡邊	乙女 本縫い 全国ファッションデザインコンテスト考案	復習：ポーズの検索	30分
10回 渡邊	乙女 " 全国ファッションデザインコンテスト仕上げ	復習：デザイン画仕上げ	30分
11回 渡邊	アクセサリー制作① 基本的な作業の方法	復習：素材探し	30分
12回 渡邊	アクセサリー制作② イヤリング(ピアス)・ネックレス・リング・パーツ作り	復習：パーツ探し	30分
13回 渡邊	アクセサリー制作③ 自由なデザインでアクセサリー制作	復習：作業の延長	30分
14回 渡邊	アクセサリー制作④ マップ制作	復習：マップ制作	30分
15回 渡邊	アクセサリー制作⑤ 仕上げ プレゼンテーション	予習：プレゼン準備	30分

クリエイティブデザインⅢ

渡邊 千佳子

高度アパレル専門科 3年 通年(後期) 必修 (2単位 実習・実技)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 渡邊	デザイン画コンテストのためのデザイン考案	復習：デザイン考案、図書館	30分
2回 渡邊	〃	復習：デザイン考案 図書館	30分
3回 渡邊	〃 仕上げ	復習：仕上げ	30分
4回 渡邊	乙女のソーイングブック 撮影	復習：撮影	30分
5回 渡邊	修了制作のデザイン画 自分のブランドに合ったポーズの収集	復習：ポーズの練習	30分
6回 渡邊	〃 下書き	復習：下書き	30分
7回 渡邊	〃	復習： 〃	30分
8回 渡邊	〃	復習： 〃	30分
9回 渡邊	〃	復習： 〃	30分
10回 渡邊	〃	復習： 〃	30分
11回 渡邊	〃	復習： 〃	30分
12回 渡邊	〃 着彩 素材に合った画材の選定	復習： 着彩	30分
13回 渡邊	〃 仕上げ	復習： 仕上げ	30分
14回 渡邊	〃	復習：	30分
15回 渡邊	プレゼンテーション 提出	予習：プレゼン準備	30分

ファブリックデザイン I

赤澤 結花

高度アパレル専門科 3年 通年(前期) 必修 (2単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

ファブリックデザインを通して、自由な発想を広げクリエイションを育てる。はじめにファブリックをデザインすることについて学び、サンプル製作を繰り返すことで実物のイメージを膨らませ、完成度の高い作品制作を目指す。また、応用範囲の広いテクニックとして、ファブリックマニピュレーションやビーズ織、フッキングなどのテクニックを学ぶ。自由制作では表現方法のひとつとして織物も取り入れていく。

■到達目標 (学修成果)

テキスタイルファブリックの様々なテクニックを知ることで、クリエイションの幅を広げる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。発想力を養うことに役立つ。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題提出物の返却時に講評する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

プリントの配布

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

毎週：月曜日 (16時00分～17時00分) 5301教室 (第5校舎3階)

■備考

授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 赤澤	ファブリックマニピュレーション	復習：仕上げる	30分
2回 赤澤	ファブリックデザイン I 考案	予習：デザイン資料を集める	30分
3回 赤澤	” イメージマップの製作	予習：材料の準備	30分
4回 赤澤	” サンプル製作	復習：できるところまで進める	30分
5回 赤澤	” サンプル製作	復習：できるところまで進める	30分
6回 赤澤	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30分
7回 赤澤	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30分
8回 赤澤	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30分
9回 赤澤	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30分
10回 赤澤	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30分
11回 赤澤	ビーズ織 サンプル製作	予習：サンプルを仕上げる	30分
12回 赤澤	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30分
13回 赤澤	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30分
14回 赤澤	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30分
15回 赤澤	” 実物製作	復習：仕上げ	30分

ファブリックデザイン I

赤澤 結花

高度アパレル専門科 3年 通年(後期) 必修 (2単位 実習・実技)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 赤澤	フック デザイン考案 デザインを布に描く 木枠に布を張る	予習：デザイン資料を集める	30分
2回 赤澤	〃 実物製作	予習：糸の購入	30分
3回 赤澤	〃 実物製作	復習：できるところまで進める	30分
4回 赤澤	〃 実物製作	復習：できるところまで進める	30分
5回 赤澤	〃 実物製作	復習：できるところまで進める	30分
6回 赤澤	自由制作 考案	予習：デザイン資料を集める	30分
7回 赤澤	〃 サンプル製作	復習：できるところまで進める	30分
8回 赤澤	〃 サンプル製作	復習：できるところまで進める	30分
9回 赤澤	〃 実物製作	復習：できるところまで進める	30分
10回 赤澤	〃 実物製作	復習：できるところまで進める	30分
11回 赤澤	〃 実物製作	復習：できるところまで進める	30分
12回 赤澤	〃 実物製作	復習：できるところまで進める	30分
13回 赤澤	〃 実物製作	復習：できるところまで進める	30分
14回 赤澤	〃 実物製作	復習：できるところまで進める	30分
15回 赤澤	〃 仕上げ	予習：提出準備	30分

ダイニングデザイン I

鎌田 美恵

高度アパレル専門科 3年 通年 必修 (3単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

染色の基本に基づいたワークショップを指導してきた授業担当者の経験を活かし、前年度に学んだ基礎知識を踏まえ服飾造形に活かせる技法を修得する。1 作品目は手描き友禅染めで絹布を染める。この技法は工程が多く複雑なのでしっかりと計画を立て、正確で丁寧な作業を心掛け技法の特徴を捉えた作品作りを行う。2 作品目は板締め絞りを実習する。基本の畳み方を基にして板の配置などを工夫し幾何学模様の作品を染色する。

■到達目標 (学修成果)

染色技法をよく理解しポイントを捉えたデザインでオリジナルな作品の発想を追求する。この授業で得た染色の知識によりさらに創造や表現の幅が広がり、これからの服飾造形の制作に活かすことができるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目のため卒業に必要な科目である。さらに染色の知識・技法を修得し作品制作に繋げる。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題作品は評価した後、速やかに後日返却する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

授業資料プリントを作成する。

■参考文献

授業時に適宜指示する。

■オフィスアワー・研究室

授業終了後、質問などに対応いたします。

■備考

成績は出欠や授業態度を重視します。作品制作に当たっては正確丁寧な作業を心掛けて、積極的な姿勢で学修に取り組んでください。

■授業計画 (前期)

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 鎌田	手描き友禅染め デザイン考案、下絵作成	復習：下絵作成	45分
2回 鎌田	手描き友禅染め 下絵付け、糸目糊調整、糸目糊置き	予習：染色のための生地準備(端布付け)	45分
3回 鎌田	手描き友禅染め 糸目糊置き、霧吹き、地入れ	復習：作業の確認	30分
4回 鎌田	手描き友禅染め 色挿し、伏せ糊調整	予習：色彩計画	30分
5回 鎌田	手描き友禅染め 伏せ糊置き、地入れ	復習：作業の確認	30分
6回 鎌田	手描き友禅染め 地染め	復習：作業の確認	30分
7回 鎌田	手描き友禅染め 蒸熱、水洗、乾燥	復習：作業の確認、レポート作成	45分
8回 鎌田	板締め絞り 基本の畳み方練習、染色	予習：板締め絞り調査	30分

■授業計画 (後期)

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 鎌田	マーブル染め マーブル糊調整、試染	予習：染色方法調査、テーマや配色検討	45分
2回 鎌田	マーブル染め 本染色、後処理、レポート作成	予習：作業の確認、配色などの検討	30分

ドローイングアドバンス

熊谷 宗一

高度アパレル専門科 3年 通年(前期) 必修 (3単位 講義/実習・実技)

■授業の方針・概要

ドローイングはファッションデザインの要となる技術であり、イメージを可視化して他者に伝える手段である。服飾デザインの基本となる人体を中心に授業を行い、美術解剖学の授業と関連づけて人体の形と構造を把握することでデザインに活かしていく。

描画技術の向上だけでなく、オブジェ制作など多角的なアプローチでオリジナリティーのある創造的な表現への発展をはかる。

■到達目標 (学修成果)

見る力と描写力を鍛えることで、形を構造的に捉え、的確に描出することができるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目。表現者としてのデザイナーに必要なイメージ発想の求め方と展開、具現化がその後の作品制作に重要である。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

前期に講評1回、後期にギャラリーUで作品展をひらく
課題の作品は採点后、前後期とも期末に返却する

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

授業終了後、教室で質問等に対応する

■備考

授業内容は変更することもある

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 熊谷	授業の説明 素描、描画用具の説明 石膏デッサン 1	予習：画材の準備	30分
2回 熊谷	石膏デッサン 2	復習：作業の確認	30分
3回 熊谷	石膏デッサン 3	復習：作業の確認	30分
4回 熊谷	石膏デッサン 4	復習：作業の確認	30分
5回 熊谷	石膏デッサン 5	復習：作業の確認	30分
6回 熊谷	人体クロッキー	予習：画材の準備	30分
7回 熊谷	人体クロッキー	予習：画材の準備	30分
8回 熊谷	人体クロッキー	予習：画材の準備	30分
9回 熊谷	有機的な形 植物	予習：画材と画題の準備	30分
10回 熊谷	フロッターージュ	予習：画材の準備	30分
11回 熊谷	コラージュ/フォトモンタージュ	予習：画材と画題の準備	40分

ドローイングアドバンス

熊谷 宗一

高度アパレル専門科 3年 通年(後期) 必修 (3単位 講義/実習・実技)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 熊谷	人体デッサン 1	予習: 画材の準備	30分
2回 熊谷	人体デッサン 2	復習: 作業の確認	30分
3回 熊谷	質感の表現 1	予習: 画材の準備	30分
4回 熊谷	質感の表現 2	復習: 作業の確認	30分
5回 熊谷	自画像/顔と手 1	予習: 画材の準備、自画像について考察する	30分
6回 熊谷	自画像/顔と手 2	復習: 制作の考察	30分
7回 熊谷	立体造形とドローイング 1	予習: 材料の準備	40分
8回 熊谷	立体造形とドローイング 2	予習: 制作とテーマの考察	40分
9回 熊谷	立体造形とドローイング 3	復習: 作業の確認	30分
10回 熊谷	立体造形とドローイング 4	復習: 作業の確認	30分
11回 熊谷	立体造形とドローイング 5	復習: 作業の確認	30分
12回 熊谷	学生クロッキー	予習: 画材の準備	30分
13回 熊谷	石膏像と布 1	予習: 画材の準備	30分
14回 熊谷	石膏像と布 2 / 作品展の展示作業	予習: 展示作品の準備	30分

美術解剖学

熊谷 宗一

高度アパレル専門科 3年 前期 必修 (1単位 演習)

■授業の方針・概要

美術解剖学はデザイナーや美術家のように、人体に関わる造形にたずさわる者に必要な知識である。人体の外形と内部の構造を知ることによって表に現れてくる形や機能、動きを認識し、人体の形とその造形表現について学ぶ。美の基準の時代や民族による相違や人体のプロポーションについて、古今東西の美術作品にあらわされた人体表現を、画像や図版を使って学習する。ドローイングアドバンスの授業と並行して進めることで、ドローイング及びデザインの実制作に活かすことを目指す。

■到達目標 (学修成果)

人体をより正確に理解し描くことができるようになり、人の動きによる形の変化を意識したデザインを考案できるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目。卒業後、実際の人の動きと形に則したデザインをすることに役立つ。服を作っていく上で重要な人間と衣服と美についてのヴィジョンの考察、美術の知識を深める。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

レポートは採点后、前期終了時に返却する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題 (プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題 (プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

授業資料プリントを作成する

■参考文献

授業時に適宜指示する

■オフィスアワー・研究室

授業終了後、教室で質問等に対応する

■備考

授業内容は変更することもある

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 熊谷	美術解剖学とは 概要 人体比例 年齢による相違点	予習：筆記具、メジャーの準備 復習：授業資料プリントの確認	30分
2回 熊谷	各論：頭部、頸部 性差、年齢差による表現	復習：授業資料プリントの確認	30分
3回 熊谷	体幹 形、運動による変化	復習：授業資料プリントの確認	30分
4回 熊谷	体肢 東洋と西洋の表現	復習：授業資料プリントの確認	30分
5回 熊谷	対称、非対称 美術作品に見る表現例	復習：授業資料プリントの確認	30分

アパレルCGⅢ

多田 純子

高度アパレル専門科 3年 通年(前期) 必修 (4単位 演習)

■授業の方針・概要

ファッション業界のみならず、デザイン業務においてスタンダードアプリケーションソフトであるIllustrator・Photoshopのスキルアップを目指し、さまざまな応用テクニックを実践していく。それぞれの目的に沿ったイメージを表現できる活用方法を学ぶ。(作品のポートフォリオやスタイルブック等を効果的に見せるページ構成力をつける)

■到達目標 (学修成果)

Illustrator・Photoshopを使い、さらに表現方法の幅を広げ、効果的・効率的に操作できるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。

Illustrator・Photoshopを効果的に使いこなす業務をスムーズに遂行する為のスキルが身につく。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内で不明点がある場合、その場で個人指導を行う。

作品はPDFデータ提出、個別講評でフィードバックする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

随時、授業に合わせてプリント(データ)を配布する。

■参考文献

随時、授業内容に合わせてネットから検索。

■オフィスアワー・研究室

4/23～7/28 毎週木曜日 (10:20～12:00) 1022 CG教室

■備考

日程及び授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 多田	自分のブランド ロゴデザイン(ロゴレギュレーション)①	資料配布、解説 演習:データ作成・整理	30分
2回 多田	自分のブランド ロゴデザイン(ロゴレギュレーション)②	演習:データ作成・整理	30分
3回 多田	自分のブランド ロゴデザイン(ロゴレギュレーション)③	演習:データ作成・整理	30分
4回 多田	自分の名刺を作る(個人または自分のブランド)①	資料配布、解説 演習:データ作成・整理	30分
5回 多田	自分の名刺を作る(個人または自分のブランド)②	演習:データ作成・整理	30分
6回 多田	自分の名刺を作る(個人または自分のブランド)③	演習:データ作成・整理	30分
7回 多田	自分の名刺を作る(個人または自分のブランド)④ 名刺印刷する	演習:データ作成・整理	30分
8回 多田	プロモーションマテリアル①	資料配布、解説 演習:データ作成・整理	30分
9回 多田	プロモーションマテリアル②	演習:データ作成・整理	30分
10回 多田	プロモーションマテリアル③	演習:データ作成・整理	30分
11回 多田	プロモーションマテリアル④	演習:データ作成・整理	30分
12回 多田	レイアウトの基本① デザインと編集、アートボード・レイヤーの基本	資料配布、解説 ページもののデザインラフ(編集)	30分
13回 多田	レイアウトの基本② デザインと編集、アートボード・レイヤーの基本	演習:データ作成・整理	30分
14回 多田	全体のグラフィックデザインイメージ案①	資料配布、解説 演習:データ作成・整理	30分
15回 多田	全体のグラフィックデザインイメージ案②	演習:データ作成・整理	30分

アパレルCGⅢ

川名 佳世

高度アパレル専門科 3年 通年(後期) 必修 (4単位 演習)

■授業の方針・概要

授業担当者のデザイナーとしての□□経験と実績を活かし、パソコンスキル□、構成力を高める。各自オリジナルブランドの□□□□確立を想定した企画、立案、企画書の作成するにあたり、具体的なパソコンを□使用した資料作りを行う

■到達目標 (学修成果)

社会に通用するCGでのビジュアル□□□、構成力のある資料の作成を目指す

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

3年次修了に必要な科目

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

作成資料への添削返却、プレゼン□資料へのコメント

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

必要に応じてインターネットを□使用

■オフィスアワー・研究室

月曜日(13:00~14:35)6201教室

■備考

授業内容は変更することもある

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 川名	オリエンテーション	CGを使用した資料作り解説	90分
2回 川名	プレゼン□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成	90分
3回 川名	プレゼン□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成	90分
4回 川名	プレゼン□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成	90分
5回 川名	プレゼン□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成	90分
6回 川名	プレゼン□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成	90分
7回 川名	プレゼン□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成 復習 進捗確認	90分
8回 川名	プレゼン□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成	90分
9回 川名	プレゼン□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成	90分
10回 川名	プレゼン□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成	90分
11回 川名	プレゼン□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成	90分
12回 川名	プレゼン□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成	90分
13回 川名	プレゼン□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成	90分
14回 川名	プレゼン□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成	90分
15回 川名	プレゼン□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成 復習 進捗確認	90分

パターンメイキング演習Ⅱ

仙木 沙紀

高度アパレル専門科 3年 後期 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

パターンメイキング技術検定試験対策のために行う。パターンメイキング技術検定試験2級ガイドブックの内容を理解し受験に対する訓練として、繰り返し理論問題の模擬試験を行う。実技試験対策としてはパターンメイキング及びトワリングを時間を決めて模擬試験を行う。

■到達目標 (学修成果)

パターンメイキング技術検定試験2級全員合格を目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

パターンメイキング技術検定試験2級を受けるため。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業の中で質問に答えてその都度解決していく。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	10%

■教科書

なし

■参考文献

パターンメイキング技術検定試験2級ガイドブック

■オフィスアワー・研究室

月曜日 (16:00~17:00)

■備考

授業内容は変更する事もある

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 担任	PM技術検定試験2級ガイドブック読み合わせ、解説	予習：ガイドブック読み合わせ	120分
2回 担任	理論試験対策として模擬試験、解答	復習：模擬試験、解答	120分
3回 担任	理論試験対策として模擬試験、解答	復習：模擬試験、解答	120分
4回 担任	理論試験対策として模擬試験、解答	復習：模擬試験、解答	120分
5回 担任	理論試験対策として模擬試験、解答	復習：模擬試験、解答	120分
6回 担任	理論試験対策として模擬試験、解答	復習：模擬試験、解答	120分
7回 担任	実技試験対策としてパターンメイキングからトワリングまでを行う。	予習：パターン及びトワリング方法	120分
8回 担任	実技試験対策 模擬試験	復習：模擬試験、解答	120分
9回 担任	実技試験対策 模擬試験	復習：模擬試験、解答	120分
10回 担任	実技試験対策 模擬試験	復習：模擬試験、解答	120分
11回 担任	実技試験対策 模擬試験	復習：模擬試験、解答	120分
12回 担任	実技試験対策 模擬試験	復習：模擬試験、解答	120分
13回 担任	実技試験対策 模擬試験	復習：模擬試験、解答	120分
14回 担任	実技試験対策 模擬試験	復習：模擬試験、解答	120分
15回 担任	実技試験対策 模擬試験	復習：模擬試験、解答	120分

アパレルCADⅢ

菊地 正哲

高度アパレル専門科 3年 通年(前期) 必修 (4単位 演習)

■授業の方針・概要

授業担当者のパタンナーとしての実務経験とパタンナーへの技術指導の実績を活かし、アパレルCADシステムの実践的な活用法を習得することを目指す。特に企業で即戦力となるように、トータルでCADを使いこなせる応用操作の実習を行う。

■到達目標 (学修成果)

アパレルCADシステムを使い、高度なパターンメイキングの操作と実践的なグレーディング・マーキングの操作、及び3D機能によるデジタルトワルの作成技術の習得を目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業認定に必要な科目。アパレル企業におけるCADシステムをトータルにツールとして使える技術を習得する科目。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業の中で、質問に答えてその都度、解決していく。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

PATTERN MAKING I・II・III・MEN'S WEAR

■参考文献

CREA COMPO II オペレーションマニュアル

■オフィスアワー・研究室

水曜日 (15時35分～17時00分) 6101教室 (第六校舎1F CAD室)

■備考

状況により内容変更有り。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 菊地	ドレスシャツ①：パターンメイキング	復習：項目、機能を整理する。	30分
2回 菊地	ドレスシャツ②：パターンメイキング	復習：項目、機能を整理する。	30分
3回 菊地	ドレスシャツ③：3Dデジタルトワル作成	復習：項目、機能を整理する。	30分
4回 菊地	ドレスシャツ④：工業用パターン作成	復習：項目、機能を整理する。	30分
5回 菊地	ドレスシャツ⑤：仕様書作成	復習：作成資料を確認する。	30分
6回 菊地	スラックス①：パターンメイキング	復習：項目、機能を整理する。	30分
7回 菊地	スラックス②：パターンメイキング	復習：項目、機能を整理する。	30分
8回 菊地	スラックス③：3Dデジタルトワル作成	復習：項目、機能を整理する。	30分
9回 菊地	スラックス④：工業用パターン作成	復習：項目、機能を整理する。	30分
10回 菊地	スラックス⑤：仕様書作成	復習：作成資料を確認する。	30分
11回 菊地	テーラードジャケット①：パターンメイキング	復習：項目、機能を整理する。	30分
12回 菊地	テーラードジャケット②：パターンメイキング	復習：項目、機能を整理する。	30分
13回 菊地	テーラードジャケット③：3Dデジタルトワル作成	復習：項目、機能を整理する。	30分
14回 菊地	テーラードジャケット④：工業用パターン作成	予習：裏地の展開を確認しておく。	30分
15回 菊地	テーラードジャケット⑤：工業用パターン作成	予習：裏地の展開を確認しておく。	30分

アパレルCADⅢ

菊地 正哲

高度アパレル専門科 3年 通年(後期) 必修 (4単位 演習)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 菊地	テーラードジャケット 仕様書作成	復習:作成資料を確認する。	30分
2回 菊地	クリエイティブ3Dモデリング①	復習:項目、機能を整理する。	30分
3回 菊地	クリエイティブ3Dモデリング②	復習:項目、機能を整理する。	30分
4回 菊地	クリエイティブ3Dモデリング③	復習:項目、機能を整理する。	30分
5回 菊地	クリエイティブ3Dモデリング④	復習:項目、機能を整理する。	30分
6回 菊地	クリエイティブ3Dモデリング⑤	復習:項目、機能を整理する。	30分
7回 菊地	クリエイティブ3Dモデリング⑥	復習:項目、機能を整理する。	30分
8回 菊地	クリエイティブ3Dモデリング⑦	復習:項目、機能を整理する。	30分
9回 菊地	プレゼンテーション	復習:作成資料を確認する。	30分
10回 菊地	卒業制作CAD入力①	復習:項目、機能を整理する。	30分
11回 菊地	卒業制作CAD入力②	復習:項目、機能を整理する。	30分
12回 菊地	マーキング実習①	復習:項目、機能を整理する。	30分
13回 菊地	マーキング実習②	復習:作成資料を確認する。	30分
14回 菊地	グレーディング実習①	復習:項目、機能を整理する。	30分
15回 菊地	グレーディング実習②	復習:作成資料を確認する。	30分

商品企画

赤川 順子

高度アパレル専門科 3年 前期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

ファッションデザイナー、ディレクターとしての企業実務経験者による授業。
マーケティング視点を意識し、トレンドの把握とニーズを予測、対象とするブランドへ商品企画提案をプレゼンテーションする。

■到達目標 (学修成果)

提案先のブランド特長を捉え、目的や狙いを明確にした企画・デザインの立案ができること。
マーケティングのプロセスを理解し、魅力的な提案サンプルを作成。自らの考えを言語化しプレゼンテーションが出来ること。
自らの作業計画を立案し進捗管理が行えること。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

修了のために必要な科目。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

企画立案、デザイン、トアル、プレゼン資料などの課題に対し個々に随時アドバイスを行います。
プレゼンテーションに対する講評を行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

授業終了後、質問などに対応します。

■備考

審査会の日程は9月を予定しています。
日程、授業内容は変更することがあります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 赤川	オリエンテーション/商品企画、価値づくりについて リサーチ計画の考案	マーケットリサーチの計画を立てる	30分
2回 赤川	リサーチ計画の確認/マーケットリサーチ	マーケットリサーチのレポートまとめ	60分
3回 赤川	企画の狙い、目的について考えテーマ設定とイメージマップを 作成、スケジュールを組む	デザイン考案に必要なイメージビジュアルを収集する	60分
4回 赤川	企画テーマ、コンセプト考案 デザイン考案①	イメージビジュアルの不足を収集する、ラフデザイン の考案	60分
5回 赤川	デザイン考案②	デザイン考案、使用素材探し	60分
6回 赤川	デザイン考案③	スタイル画を完成させる、使用する素材の候補 を探す	60分
7回 赤川	パターン作成①	パターン作成	60分
8回 赤川	パターン作成②	パターン作成	60分
9回 赤川	パターン作成③	パターン・トアル作成	60分
10回 赤川	トアルチェック①	トアルチェックの準備	60分
11回 赤川	トアルチェック②	トアルチェックの準備	60分
12回 赤川	トアルチェック③	トアルチェック、サンプル縫製の準備	60分
13回 赤川	プレゼン資料作成①	サンプル縫製	60分
14回 赤川	プレゼン資料作成②	プレゼン原稿の作成	60分
15回 赤川	企画資料プレゼンテーション、講評	資料のブラッシュアップにつなげるために改善 箇所を明確にする	60分

特別講義Ⅲ

仙木 沙紀

高度アパレル専門科 3年 通年 必修 (1単位 講義)

■授業の方針・概要

年間を通して社会の現場で活躍するスペシャリストを招き、アパレル業界の現状からトレンド、企画立案、技術的な部分までの講義を聞き、常に最新の技術や知識を学ぶことを目標とする。知識向上と業界人が考えるもの作りの考え方を習得する。

■到達目標 (学修成果)

服飾造形Ⅲの授業と連携しながら、アパレル業界の現場を実感できるようにし、自己の知識と就職活動に対する意識の向上を目指す。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業の為に必要な科目。アパレル業界の現場を知ることが、専門的な部分での知識を養い、就職活動にも役立つ。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

レポート返却時に講評をする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

必要に応じて資料を配布。

■参考文献

必要に応じて資料を配布。

■オフィスアワー・研究室

授業終了後、質問等に対応する。

■備考

授業内容は変更する事もある。

■授業計画 (前期)

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 外部	QUOTATION	講師により異なる 準備等や時間は事前に知らせる。	30分
2回 外部	YKKコンテスト (副資材について)	講師により異なる 準備等や時間は事前に知らせる。	30分
3回 外部	商品企画について	講師により異なる 準備等や時間は事前に知らせる。	30分
4回 外部	テキスタイルについて	講師により異なる 準備等や時間は事前に知らせる。	30分

■授業計画 (後期)

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 外部	トレンドについて	講師により異なる 準備等や時間は事前に知らせる。	30分
2回 外部	ミリタリーについて	講師により異なる 準備等や時間は事前に知らせる。	30分
3回 外部	NYコレクションについて	講師により異なる 準備等や時間は事前に知らせる。	30分
4回 外部	色について	講師により異なる 準備等や時間は事前に知らせる。	30分

インターンシップ

仙木 沙紀

高度アパレル専門科 3年 通年 必修 (2単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

インターンシップ(就業体験)を通して、専門分野に関連する実務体験を企業で体験、学修します。実務能力を高め、企業で必要とされる能力を感じ取ることで、卒業後の就職に対する意欲と学内での学修をより深く理解する事が出来る。

■到達目標(学修成果)

学内授業では得られない就業体験を行う事で将来の就職に生かせる理解と能力を身につけることを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目である。将来の就職に向けて仕事を理解する為の選択科目。

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

研修日誌による毎日の提出内容の企業研修先による講評、最終報告書提出の講評、報告会による講評当日その都度フィードバックする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	20%

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

初日までに伝達。

■備考

実務時期、期間：2年生または3年生で8日から10日相当(評価は3年次)

研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県。

実施期間等は変更になることもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 就職部	オリエンテーション：企業の心得とマナー等について・企業人事の講義「企業が望むインターンシップ」	予習：企業について研究する	90分
2回 担任	面談：研修先企業や職種について面談	復習：研修先について検討する。	30分
3回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
4回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
5回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
6回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
7回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
2回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
3回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
4回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
5回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
6回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
7回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
8回 担任	事後報告：報告書、研修日誌のまとめ	復習：研修日誌を書き、報告書をまとめる。	30分

心理学

手島 陽介

高度アパレル専門科 3年 後期 必修 (1単位 講義)

■授業の方針・概要

心理学は、人の行動や心を科学的に研究する学問である。本講義では、基礎心理学の分野を中心に、心理学の全体がつかめるような幅広い領域の理論について、概説する。「心」とは何か、「心理学」とはどのような学問か、グループ学習やディスカッションなど体験的な学習を通して、自ら学び、深めていくことを目指していく。また、服飾業界やビジネス場面において心理学知見がどのように活用されているかにも触れていく。

■到達目標 (学修成果)

心理学の領域における概念を理解し知識を身につけるとともに、心理学的な見方ができるようになることが到達目標である。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は、教養科目の必須科目で卒業要件科目である。心理学的知見を身につけ、社会人としての教養・基礎力を培う。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

8回目に小テストを返却し解説を行い、本授業のまとめをする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし (毎回プリント、資料を配布する。)

■参考文献

蓮見将敏ほか(編) 『人間関係の心理学』 福村出版
二宮克美ほか 『ベーシック心理学』 医歯薬出版株式会社

■オフィスアワー・研究室

前期：水曜日 (12:00-15:00) 研究室 後期：水曜日 (12:00-15:00) 研究室
【連絡研究室】 心理学研究室 (研究棟1階 6015)

■備考

毎時間、プリントを準備し授業に出席してください。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 手島	【心とは何か】-心理学の定義と研究分野、心理学は学ぶ人々のどこに役立つのか、意識と無意識の世界、心理学の歴史-	予習:心理学という学問についてのイメージ、何を学びたいかを考えてくる。	30分
2回 手島	【性格の心理】-個人差としての性格を考える、遺伝と環境の関係、アイデンティティ (自分らしさ) とは何か	復習:パーソナリティテストの結果と授業内容から、「自我」について振り返る	30分
3回 手島	【コミュニケーションの心理①】-人間関係づくり、円滑なコミュニケーションを行うには-	復習:自身の普段取っているコミュニケーションのパターンを振り返る	30分
4回 手島	【コミュニケーションの心理②】-非言語的コミュニケーションから自己表現について考える-	復習:非言語的コミュニケーションを意識し他者と会話をしてみる	30分
5回 手島	【思考・創造性の心理】-「考える」とは何か、問題解決能力のプロセス、創造性の要因について学ぶ-	復習:創造的な発想のプロセスを復習し、課題に生かしてみる	60分
6回 手島	【色彩の心理学と服飾】-色と心の関係、人間の五感の機能、視覚機能について、服飾分野との関連性について考える-	復習:インテリアや服など周りの色を観察し、心理的な影響について考察する	30分
7回 手島	【心と身体の関係】-精神的健康とは何か、ストレスとストレスナーの関係、睡眠について考える-、【小テスト】	予習:現在の自分の健康状態や睡眠について考えてくる	30分
8回 手島	【まとめ】 本授業のまとめと、小テストのフィードバックを行う	復習:返却された課題、テストを振り返り、復習する。	30分

ファッション実用フランス語

福本 しのぶ

高度アパレル専門科 3年 前期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

ボンジュール!とフランス語の挨拶から始まり、ファッション大国フランスに行って会話を楽しめる程度になりませんか? 簡単な会話を学びながら、フランス語の特徴を把握し、基本的なファッション用語を身につけ、また、映像などを見ながら、フランス・ファッション、文化に触れ、「聞く」「話す」「読む」「書く」を身につけます。可能であればフランス人と会話して、学んだことを実践します。

■到達目標 (学修成果)

フランス旅行する時に役立つ表現を覚え使えるようになり、辞書を使って、短い文章の理解や、フランス語圏の通販サイトの最新WEB情報を検索できることを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

選択の場合は卒業要件ではないが、現在フランスや日本で使用されている服飾用語を分析、つなぎ合わせていくと、服飾文化の源流の一つに辿り着き、大局的に服飾文化を見直す糸口が見つかる。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

毎授業にて講義メモを出すので、3回に1度の割合でチェックする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

教科書なし。毎回講義メモ配布。 仏和辞書を購入希望の場合は要相談。

■参考文献

大学図書館のフランス語資料、フランス語サイト。

■オフィスアワー・研究室

前期：金曜日 授業前、授業終了後、教室にて質問など対応。

■備考

衣装博物館の展示内容、フランス人ゲストの都合などにより、授業内容は変更することもある。希望者には、実用フランス語検定試験5級～3級の受検指導を行う。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 1	フランスを知る フランスと日本の関わり合い/違い 基本あいさつ	身の回りのフランス語探し、発音確認	30分
2回 2	アルファベ・発音の決まり・つづり字 ① 【身の回りのフランス語/フランス語の特徴について】	発音確認 講義メモ整理	30分
3回 3	アルファベ・発音の決まり・つづり字 ② 【アクセント/フランス人らしく発音するには】	発音確認 講義メモ整理	30分
4回 4	パリジェヌのモード (ビデオ) WEB辞書の使い方 【基本的なファッション用語 色、形、物の位置】①	発音確認 講義メモ整理	30分
5回 5	【基本的なファッション用語 色、形、物の位置】② 【国名、国籍、職業】①	発音確認 講義メモ整理	30分
6回 6	【国名、国籍、職業】② 【曜日、月、季節、数字、時刻】①	発音確認 講義メモ整理	30分
7回 7	【曜日、月、季節、数字、時刻】② フランスのファッション学校について	発音確認 講義メモ整理	30分
8回 8	単語を増やそう【名詞の性と数】 動詞 -er動詞	発音確認 講義メモ整理	30分
9回 9	フランスファッション 移民による多様性 動詞 -ir動詞	発音確認 講義メモ整理	30分
10回 10	カフェやレストランで注文する【フランスのテーブルマナー】	発音確認 講義メモ整理	30分
11回 11	映画を見ながらフランスらしさを見て/聞いて ①	発音確認 講義メモ整理	30分
12回 12	映画を見ながらフランスらしさを見て/聞いて ②	発音確認 講義メモ整理	30分
13回 13	未来 / 過去について話す	発音確認 講義メモ整理 家族紹介を書く	60分
14回 14	基礎を振り返り、家族の紹介	発音確認 講義メモ整理	30分
15回 15	まとめ	全ての講義メモを整理しファイリングしておく	30分